

2024年3月期 第3四半期決算説明資料 トレーダーズホールディングス株式会社

証券コード：8704
2024年2月13日

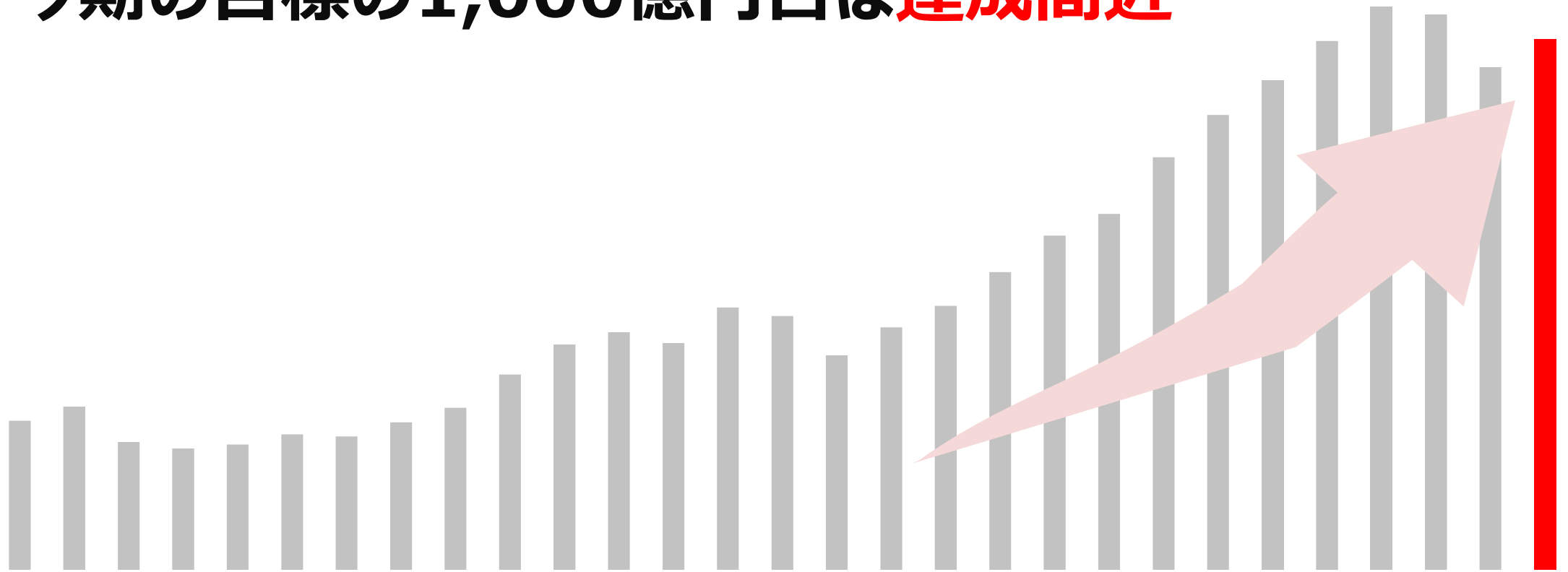


JPX-NIKKEI Mid Small



金融を、もっと面白く。

預り資産の伸びは引き続き好調 今期の目標の1,000億円台は**達成間近**



- 01 2024年3月期 第3四半期業績ハイライト**
- 02 2024年3月期 決算 業績予想**
- 03 業績予想達成に向けた2024年3月期の施策進捗**
- 04 資本政策**
- 05 Appendix**

金融を、もっと面白く。

Traders

2024年3月期 第3四半期 業績ハイライト

2024年3月期第3四半期 エグゼクティブサマリー

金融を、もっと面白く。



3Q累計の営業収益、営業利益は前年同期を上回り過去最高に

預り資産は一時的に減少するも（※）効果的なマーケティング施策の遂行により再度増加傾向へ

	2023年3月期 第3四半期	2024年3月 第3四半期	前年同期比
営業収益	6,736 百万円	7,830 百万円	+ 16.2%
営業利益	2,738 百万円	3,768 百万円	+ 37.6%

（※）預り資産の減少要因についてはP.11、12およびP.16にて説明

2024年3月期 第3四半期（累計）トピックス

金融を、もっと面白く。



営業収益

78.3 億円

前年同期比

+ 16.2 %

- ✓ 外国為替相場のボラティリティは前年同期ほど大きくはないものの、順調に積み上がった預り資産の下支えにより営業収益が拡大
- ✓ 四半期ベースで過去最高収益を記録

営業利益率

48.1 %

前年同期比

+ 7.5 %

- ✓ ①システム完全内製化 ②店頭デリバティブに特化 ③固定費が中心 ④徹底したコスト管理といった当社の長所を伸長させ、引き続き高い営業利益率を維持
- ✓ 広告代理店変更により広告宣伝費削減

法人税負担率

22.7 %

- ✓ 当社グループの税金等調整前当期純利益の増加による繰越欠損金の充当を反映して繰延税金資産を1.9億円取り崩した
- ✓ 22年3月期の7.9%、23年3月期の11.4%と比べて上昇 今後はさらに法人税負担率の上昇が見込まれる

預り資産残高

964 億円 (2024年1月末時点)

前期末比

+ 160 億円

- ✓ 新規顧客を中心に入金順調に推移していたものの、12月の急激な相場変動の影響で顧客の実現損失の発生が膨らみ、預り資産残高は一時的に減少
- ✓ 2024年1月の預り資産残高は前月比で増加となり回復傾向に 3月末の1,000億円台は必達と捉え全社一丸となり邁進（詳細はP.11）

四半期連結業績

金融を、もっと面白く。



前年同期比で営業収益は38.8%増加 営業利益、経常利益は前年同期比で約2倍となり、四半期純利益についても88.8%の増加
 経常利益率の伸びに対し純利益率の増加率が低い要因はP.6記載の法人税等調整額計上によるもの

四半期会計期間における過去最高の業績を更新

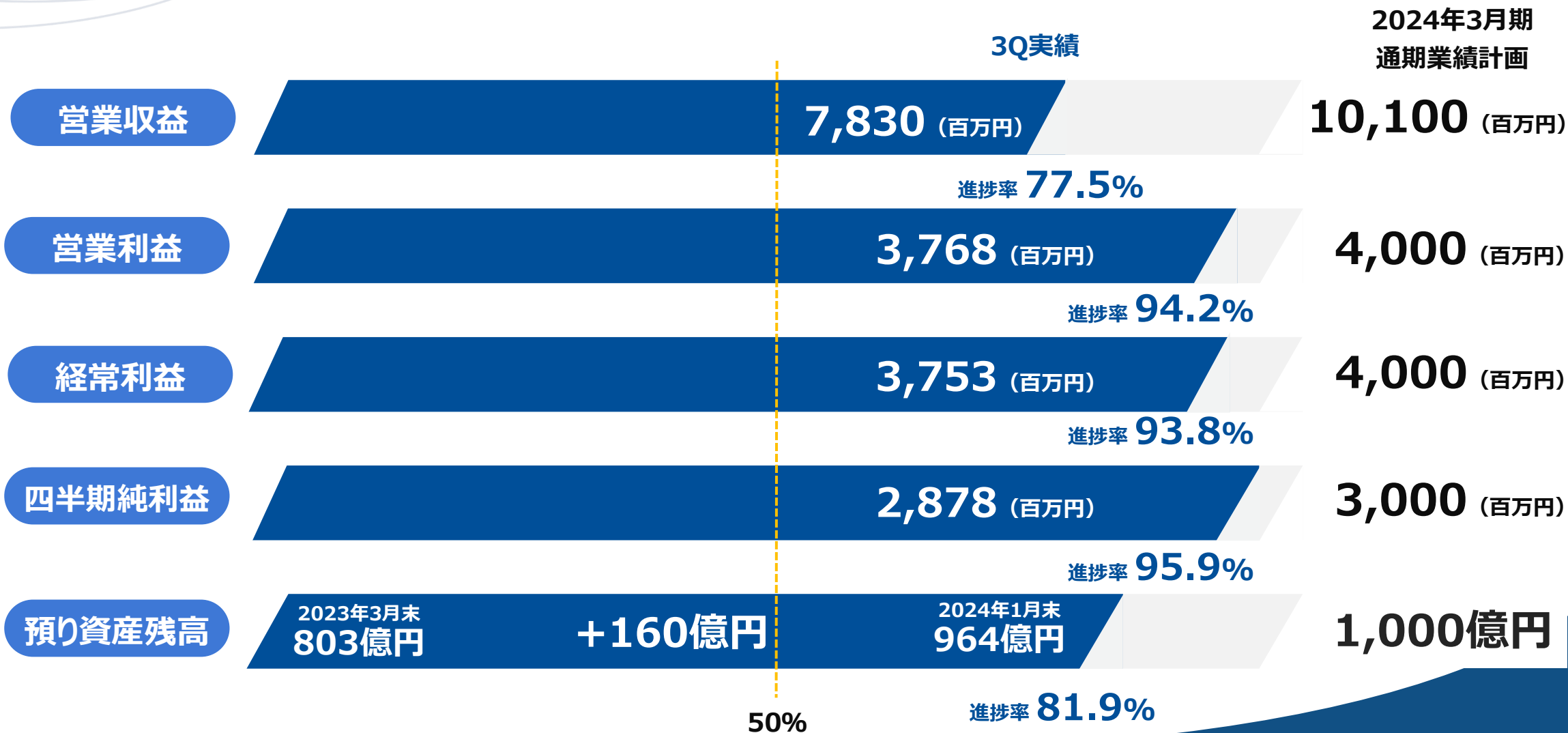
(単位：百万円)	2023年3月期				2024年3月期			前年同期比
	1Q (2022年4-6月)	2Q (2022年7-9月)	3Q (2022年10-12月)	4Q (2023年1-3月)	1Q (2023年4-6月)	2Q (2023年7-9月)	3Q (2023年10-12月)	
営業収益	2,397	2,021	2,317	2,458	2,840	1,773	3,216	+38.8%
営業利益 (利益率)	1,108 (46.2%)	676 (33.5%)	952 (41.1%)	1,004 (40.9%)	1,593 (56.1%)	269 (15.2%)	1,905 (59.2%)	+99.9%
経常利益 (利益率)	1,102 (46.0%)	670 (33.2%)	957 (41.3%)	1,000 (40.7%)	1,582 (55.7%)	263 (14.9%)	1,907 (59.3%)	+99.3%
四半期純利益 (利益率)	951 (39.7%)	540 (26.7%)	727 (31.4%)	998 (40.6%)	1,312 (46.2%)	193 (10.9%)	1,372 (42.7%)	+88.8%

四半期連結業績進捗率

金融を、もっと面白く。



営業利益、経常利益および四半期純利益は進捗率90%を超えるが通期業績計画は据え置き
預り資産はマーケット環境の影響により2023年10月に比べ減少するも、目標の1,000億円到達は目前に



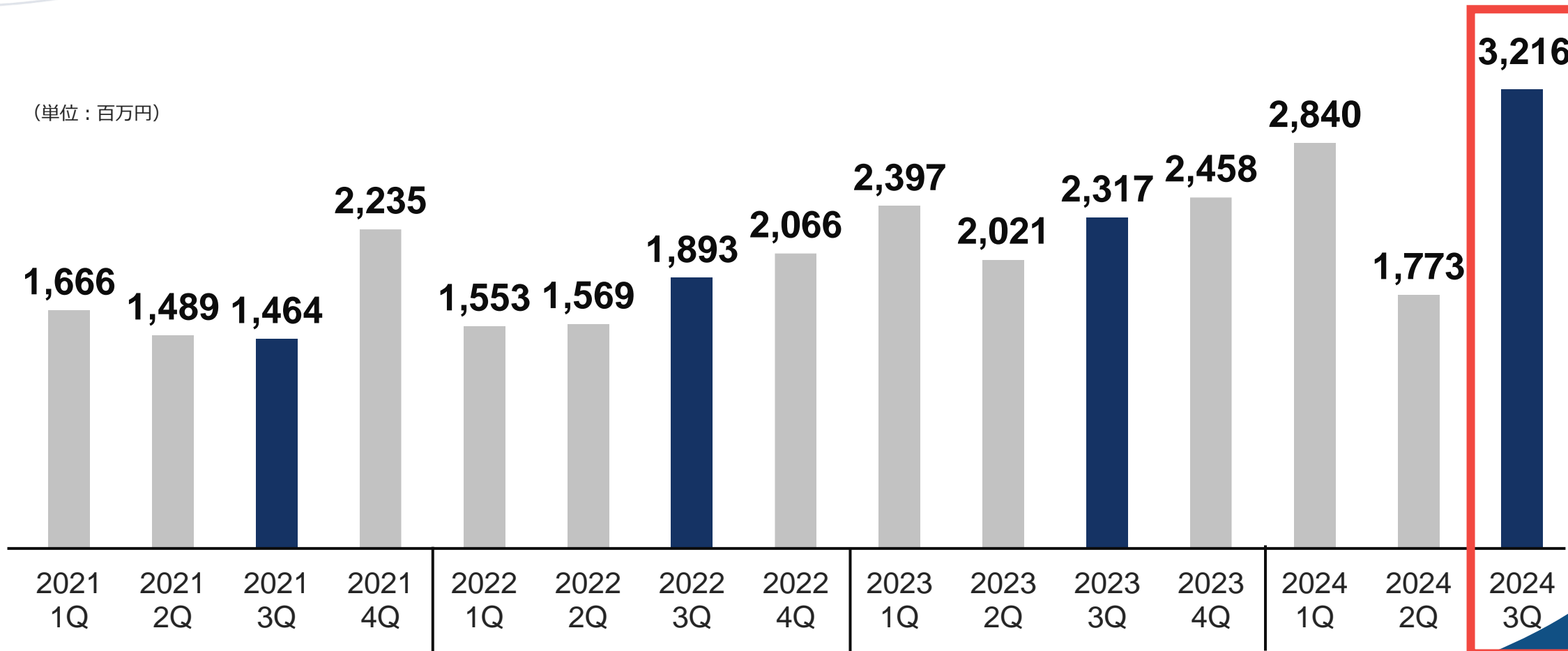
四半期業績推移（営業収益）

金融を、もっと面白く。



当第3四半期の営業収益は四半期ベースで**過去最高を記録** 第2四半期にかけ低調となっていたボラティリティが再度上昇し収益獲得

(単位：百万円)



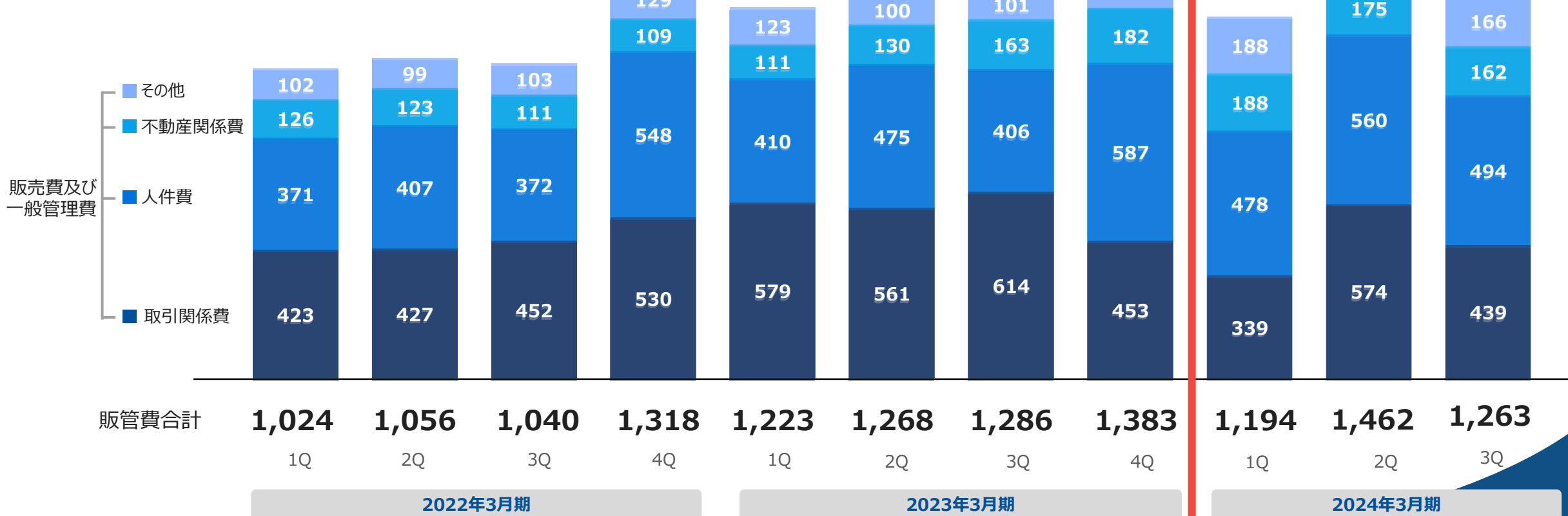
販管費の四半期推移

金融を、もっと面白く。



取引関係費の対前四半期比の減少は2Qに実施し計上したCM関連の費用（広告宣伝費）による
 人件費の対前四半期比の減少は2Qに役職員のインセンティブ報酬等を支給したことによる

(単位：百万円)

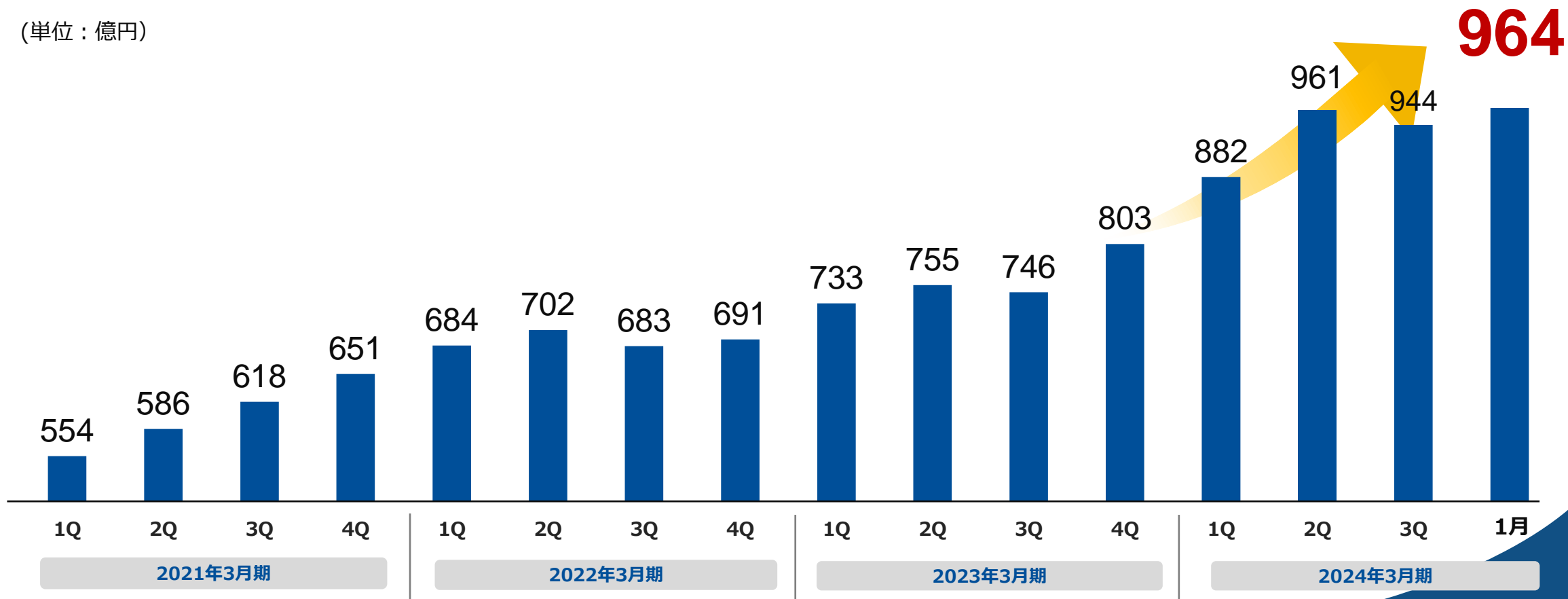


四半期ごとの預り資産推移

預り資産は1月末時点で**964億円**

マーケットの影響（急激な円高進行）により、第3四半期末では若干減少となったが、1月には再び増加となり、**成長軌道へ**

(単位：億円)



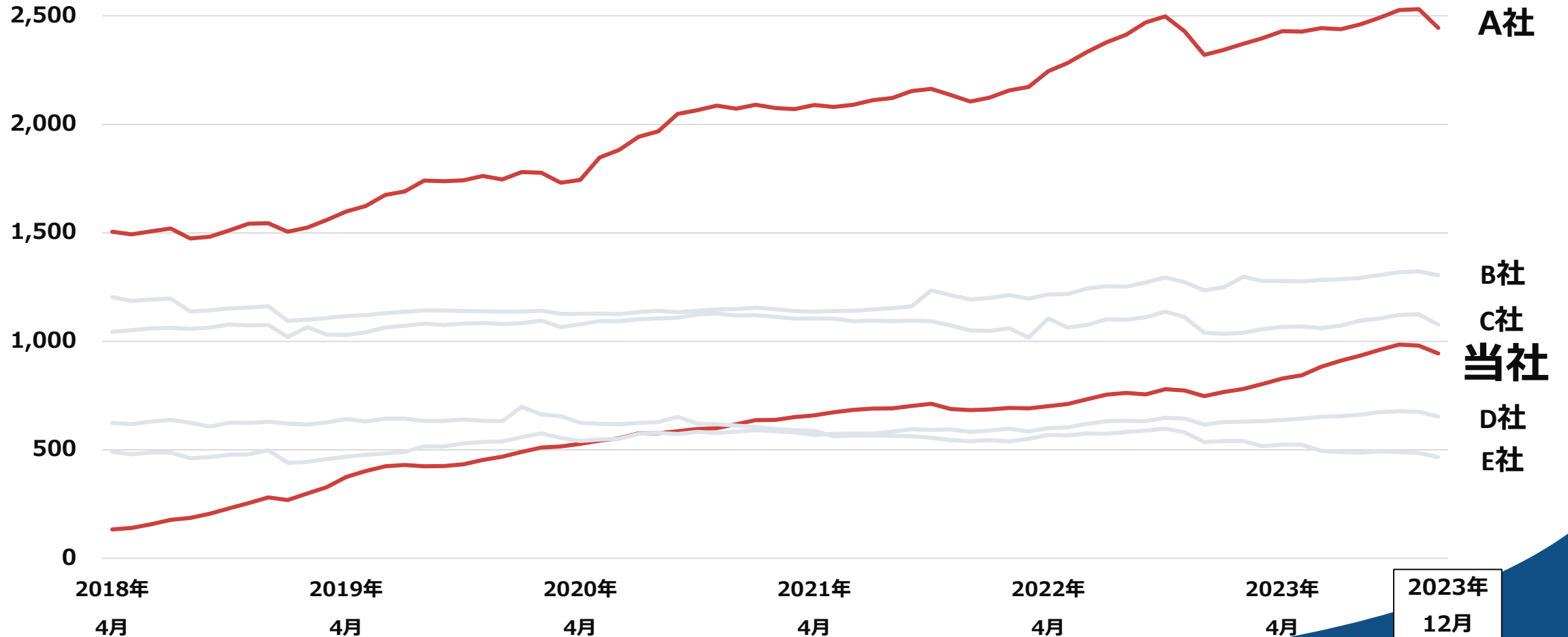
預り資産の推移（同業他社比較）

金融を、もっと面白く。



- ✓ 2023年10月、12月において急激な円高進行に起因する顧客実現損失が発生し、預り資産減少の一因となる
当社のみならず業界全体で一時的に預り資産は減少
- ✓ 引き続き2022年12月以降の増加額は業界トップ[○]（約218億円増加）

(単位：億円)



2024年3月期第3四半期 市況概況①

USDJPY (日足チャート)



市況概況

第3四半期では10月の日銀政策金利据え置きや、YCCの撤廃に関して再度柔軟化するなどの情報により一時的に大きく値が動く
12月では日銀植田総裁によるチャレンジング発言等により、複数回大きく相場が動いた

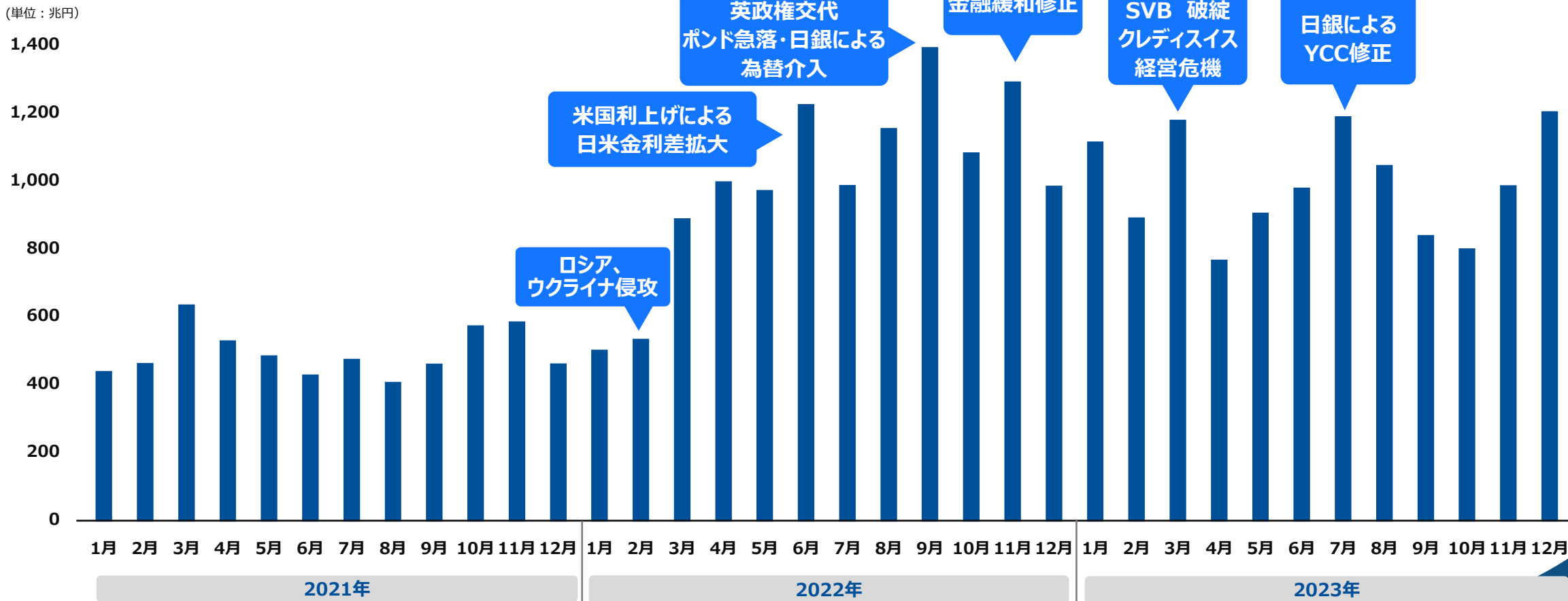
2024年3月期第3四半期 市況概況②

金融を、もっと面白く。



引き続き市場環境は活況が続き、店頭FX取引額は高水準をキープ 2022年に引き続き、年間FX取引総量は **2年連続の1京円越え**

店頭FX取引額の状況（国内）

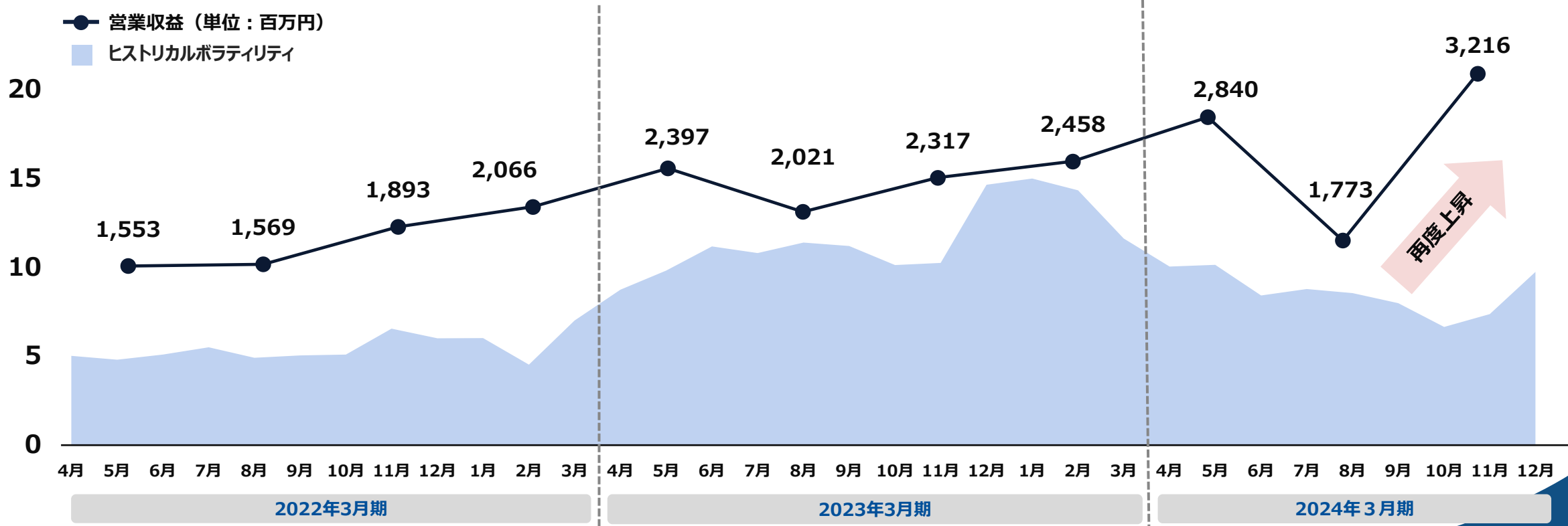


2024年3月期第3四半期 市況概況③

2024年3月期上期は徐々にボラティリティが低下しつつあったが、第3四半期で再び上昇

- ✓ 第2四半期においてはボラティリティ低下の影響を大きく受け、営業収益は減少していたが、当第3四半期において再びボラティリティが上昇 順調な預り資産の増加による下支えによって四半期会計期間における過去最高収益を更新

ヒストリカルボラティリティ※(ドル/円) の推移



※ヒストリカルボラティリティとは、テクニカル分析手法の一つで、過去のデータに基づいて統計的に算出した価格の変動率のこと。
過去の価格変動が小さければ、ヒストリカルボラティリティは小さくなり、過去の価格変動が大きければ、ヒストリカルボラティリティも大きくなる。
上図では四半期会計期間である過去60日の値動きデータに基づき計算。

預り資産の残高状況に関する説明

補足資料

金融を、もっと面白く。



当第3四半期において急激な円高の進行が複数回起こり、実現損失の発生が預り資産の減少の一因となった

USDJPY (5分足チャート)

2023年10月3日



USDJPY (5分足チャート)

2023年12月8日



USDJPY (5分足チャート)

2023年12月14日



【ご参考】前年同期決算説明資料の記載内容

金融を、もっと面白く。



前年同期においても急激な円高の進行が複数回起こり、実現損失の発生が預り資産の減少の一因となった

USDJPY (5分足チャート)

2022年10月21日



USDJPY (5分足チャート)

2022年11月10日



USDJPY (5分足チャート)

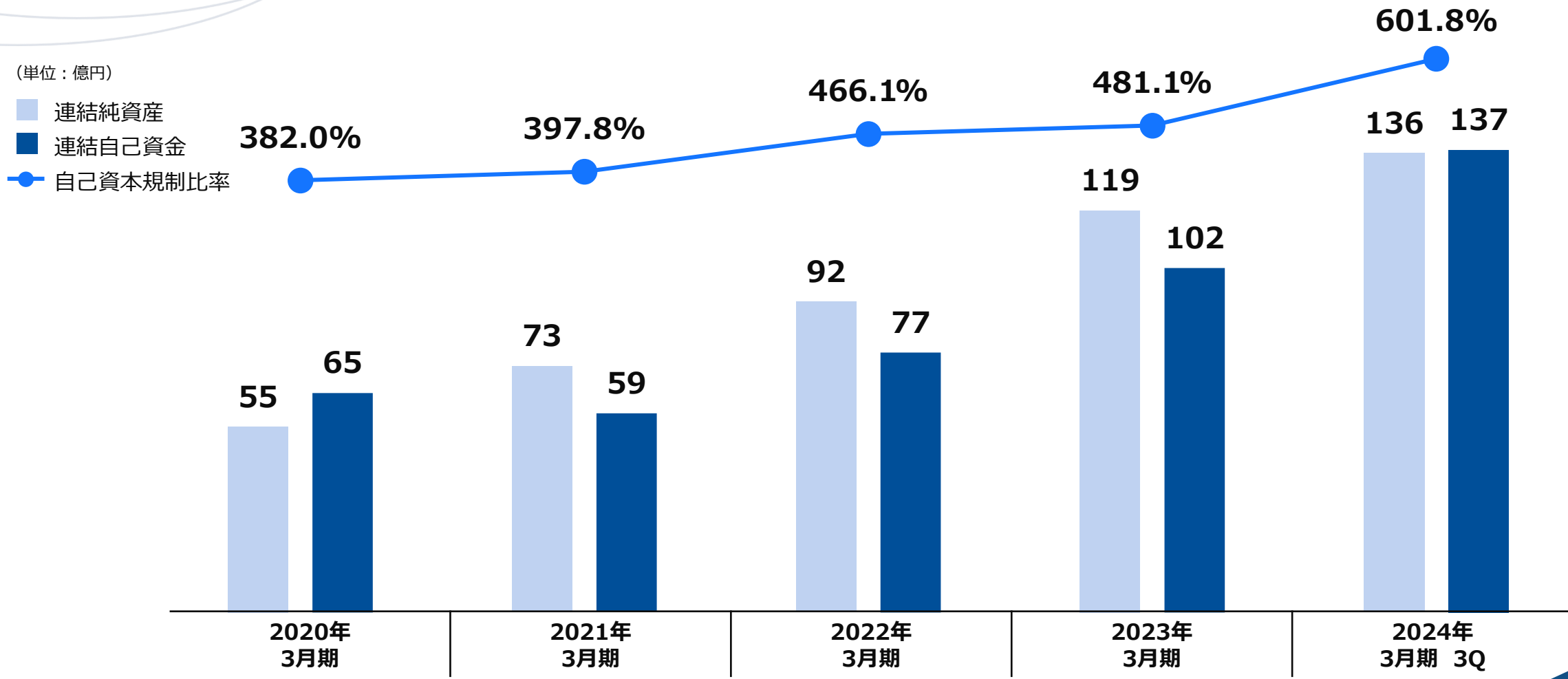
2022年12月20日



連結純資産および連結自己資金並びに財務安全性の推移

引き続き事業規模の成長とともに純資産、自己資金も順調に増加 安全性維持

FX事業にとって純資産はインフラそのものであり、今後の収益増のためにも積み上げることが重要



(注) 連結自己資金 = 連結現金預金 + 短期差入証拠金 - 有利子負債
(資金のうち顧客分別金を除いた当社グループに帰属する短期の自己資金)

金融を、もっと面白く。



2024年3月期決算 業績予想

2024年3月期 業績予想

金融を、もっと面白く。



各段階利益の進捗率が90%を超えているが、短期的な為替相場変動を鑑み第4四半期も引き続き不確実性の高い状況は続くと考え、現時点では通期業績予想は、**据え置き** 過去最高の業績達成に向け邁進

(単位：百万円)	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (期初予想)	増減
営業収益	9,194	10,100	+ 905
営業利益	3,742	4,000	+ 257
経常利益	3,730	4,000	+ 269
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,217	3,000	▲ 217
預り資産	803億円	1,000億円	+ 197億円

金融を、もっと面白く。

Traders

業績予想達成に向けた2024年3月期の施策進捗

2024年3月期の取り組み①

金融を、もっと面白く。



- ▶ 有吉弘行さんを新CMに起用以降、新規口座開設数は約31,000口座増加
- 一層のブランド向上を図るべく、TVCMだけではなくデジタル施策及び屋外看板・街頭ビジョン等メディアミックス強化を推進



TVCM

2023年7月より新CMを開始
全国エリアで放映され、みんなのFXおよび
当社の認知度は向上
CM開始以降の新規口座開設数は
約31,000口座増加



YouTube

デジタルマーケティングに注力し、
YouTube等にて新規口座開設見込みの
高い顧客に対して訴求を強化
認知度向上に向けたCM等のブランド施策
のみならず、顧客獲得に向けた施策も強化



屋外広告

1日約200万人以上が乗り降りする渋谷
駅のハチ公前交差点の目の前の大型ビジョ
ンや当社オフィスの入居するガーデンプレイス
につながる恵比寿スカイウォーク内に看板を
掲示

2024年3月期の取り組み②

FX初心者に向けたサービスの充実化を推進

12月には新たにLIGHTペアにて高スワップが人気のハンガリーフォリント/円、チェココルナ/円を追加
円キャリー取引が活況な市場環境を捉え、顧客ニーズとマッチし、顧客基盤が拡充



既存領域



新サービス

2023/3/20 開始



ハンガリーフォリント/円リリース記念
150万円
山分けキャンペーン!!
キャンペーン期間 2023.03.20(月)~2023.05.12(金)

2023/6/26 開始



スワップ&スプレッド強化
LIGHTペア
米ドル/円をはじめ
メキシコペソ/円 南アランド/円 などの高金利通貨 まで
全10通貨ペアで登場!
初めての取引からLIGHTペア!

2023/12/18 開始



2023年12月18日(月)から取引スタート!
高スワップでお馴染みの**LIGHTペア**に待望の
ハンガリーフォリント/円 & チェココルナ/円
2通貨ペア追加!
高金利通貨の取引を楽しもう!
リリースを記念した「通常より高いスワップ」にもご期待ください!

□ 大きな資金を必要とせず、また中長期での投資志向の方々に向けた商品を導入 若年層やFX初心者の方々のニーズにもマッチ

2024年3月期の取り組み③

▶ 預り資産1,000億円達成に向けたキャンペーン施策および商品スペックの向上を実施
 目標達成に向けラストスパートへ！

キャンペーン施策

- ✓ 高金利3通貨ペアでスワップ取引応援キャンペーン
- ✓ 冬の豪華賞品プレゼントキャンペーン

スワップ取引応援キャンペーン
 他社よりスワップポイントが1円でも安い場合、差額を上乗せします
 トルコリラ/円 260円 +50円上乗せ **310円**
 さらに スプレッド分の最大50%が戻ってくる！
 2024.1.22 - 3.29
 みんなのFXはスワップNo.1に挑戦し続けます！

スワップ取引応援キャンペーン
 他社よりスワップポイントが1円でも安い場合、差額を上乗せします
 南アフリカランド/円 165円 +6円上乗せ **171円**
 さらに スプレッド分の最大50%が戻ってくる！
 2024.1.22 - 3.29
 みんなのFXはスワップNo.1に挑戦し続けます！

スワップ取引応援キャンペーン
 他社よりスワップポイントが1円でも安い場合、差額を上乗せします
 メキシコペソ/円 252円 +18円上乗せ **270円**
 さらに スプレッド分の最大50%が戻ってくる！
 2024.1.22 - 3.29
 みんなのFXはスワップNo.1に挑戦し続けます！

最大9.5万円相当の豪華賞品が当たる！
 冬のプレゼントキャンペーン
 2023.12/25 - 2024.2/23
 要エントリー

プレゼント内容
 A賞 豪華3点セット！—2名
 B賞 カタログギフト—7名

商品スペック向上施策

- ✓ チェココルナ/円 スプレッド縮小
- ✓ ハンガリーフォリント/円 レバレッジ上限を引き上げ 10倍→25倍
- ✓ LIGHTFX 一部通貨ペアにて 建玉上限を引き上げ (300Lot→500Lot) ※

※2024年2月17日より引き上げ開始

2024年3月期の取り組み④

金融を、もっと面白く。



商品比較サービス「mybest」および「価格.com」にて、大手各社を抑えFXサービスランキング1位を獲得

- ✓ 「価格.com」は月間3,900万人が利用する比較サイト
スプレッドやスワップ等の項目に加え、実際のユーザの口コミをご評価いただき、
FX口座の人気総合ランキングにて、**FX口座16サービス中1位を獲得**
- ✓ 「mybest」は月間3,000万人が利用する商品比較サービス
スプレッド、スワップポイント、取扱い通貨ペア数以上3つの観点から、
FX口座25サービスを実際に比較検証し、
国内のFXサービスにおいて**ベスト口座であるとの評価を獲得**



価格.com



★ mybest

※ 価格.com FXランキング 第1位（集計期間：2023年1月1日～6月30日）

2024年3月期の取り組み⑤

金融を、もっと面白く。



» 【みんなのFX】【LIGHT FX】に「Dow Jones」ニュースを追加
最新の市場情報や相場の注目材料等をリアルタイムに提供 ユーザビリティの向上に寄与

- ✓ 「Dow Jones」日本語ニュースを「みんなのFX」「LIGHT FX」の取引画面にて無料で提供
- ✓ Dow Jones NewswiresやThe Wall Street Journalなどの広く知られるブランドから、ニュースと専門家のコメントが配信
- ✓ 主に金融機関や機関投資家に対し、厳選されたニュースのみが翻訳・配信されていたところを当社ユーザーの個人投資家の方々にも情報を提供



2024年3月期の取り組み⑥

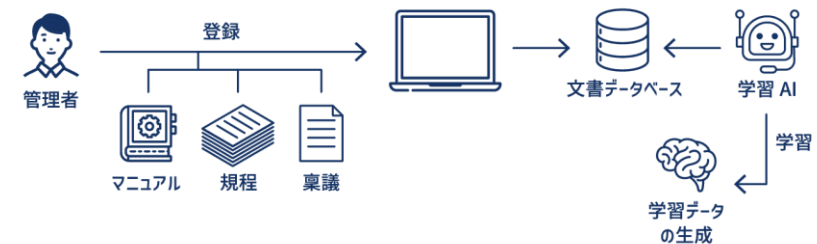
金融を、もっと面白く。



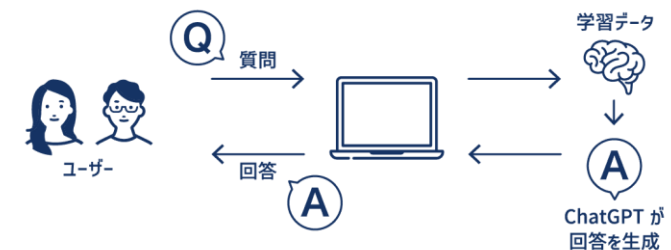
▶▶ これまで培ってきたIT技術を駆使し、 FleGrowthによる生成AIとChatGPTを活用した企業向け管理業務効率化のための新サービス「AIサポートデスク」の提供を3月より開始

- ✓ 『AIサポートデスク』は社内からの様々な質問・疑問を、担当部署に代わって、AIが答えてくれる“社内の相談窓口”
導入企業では、**担当者の省力化と対応人員の減員、事務負担減が見込まれる**
- ✓ 生成AIの技術革新が進み、多くの国内企業では、業務上で利活用する機会はまだ少ないが、**導入ニーズは高まりを見せる**
- ✓ これまで積み重ねてきたAIに関する知見・技術力をもとに、様々な企業の業務効率化と生産性向上に寄与しうるソリューションサービスの開発・提供を推進

STEP1 管理者が文書を登録



STEP2 ユーザーが質問



2024年3月期の取り組み⑦

金融を、もっと面白く。



▶▶ CVCファンドを通じ、検索SaaSを開発・提供する「株式会社Helpfeel」へ出資
対象会社が提供する検索型FAQソリューション「Helpfeel」を 트레이ダーズ証券にて導入
顧客満足度のさらなる向上と、社内業務効率化を目指す

- ✓ 特許技術の「意図予測検索」を搭載した検索ヒット率98%を誇る検索型FAQシステム「Helpfeel」をトレーダーズ証券にて導入開始
- ✓ 従来の平均的FAQシステムでは約1秒かかっていた応答速度を約1,000倍高速の0.001秒で実現
疑問解決に向けた最適なFAQページを素早く探索可能に
- ✓ サービス導入によりお客様の自己解決率を向上し
お問い合わせ件数を削減することで業務効率化および
より優先的に回答が必要なお客様への対応を行い
顧客満足度の向上を図る



2024年3月期の取り組み⑧

金融を、もっと面白く。



▶ CVCファンドを通じて出資したドクターズ株式会社のサービス オンライン医療支援サービス「TRADERS Medical Support™」を提供開始

✓ オンライン病院プラットフォームDoctors Station®を
基盤とした医療支援サービス
「TRADERS Medical Support™」を
一部のお客様に向けて提供開始

✓ メンタル面等の幅広い健康課題や、
美容等投資家の関心の高いトピックに対する専門医への
医療相談のほか、必要に応じて診療まで一気通貫でサポート

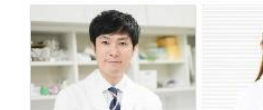
✓ 医療DX時代の到来を踏まえ、**お客様の「健康価値向上」に向けたサービス導入**
お客様の健康維持支援によりサステナブルな社会形成の一役を担う



はじめまして
TRADERS Medical Support です

「マイ医療チーム」があなたの健康をサポートしていきます。

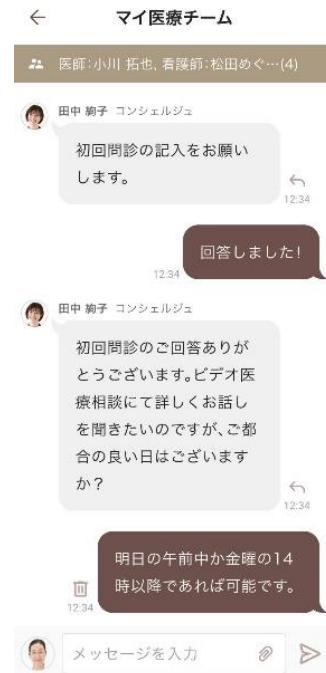
あなたのマイ医療チーム



医師
小川 拓也
長年総合内科の専門医として、多くの患者さんの治療に携わってきました。お気軽にご相談下さい。

看護師
松田 めぐ
いつも笑顔でりに合っています。

次へ



金融を、もっと面白く。



資本政策

自己株式の取得

金融を、もっと面白く。



- ✓ 2023年8月の実施に加え、11月～12月にも当期2回目の自社株買い（約3億円）を実施
- ✓ 年間での取得総額は約7億円となり、前期の2倍以上の取得金額に
- ✓ 引き続き株主価値向上に資する最適資本構成を目指し、機動的な自社株買いの実施を予定

- 自己株式取得予定額
- 自己株式取得額



配当実績および配当予定について

金融を、もっと面白く。



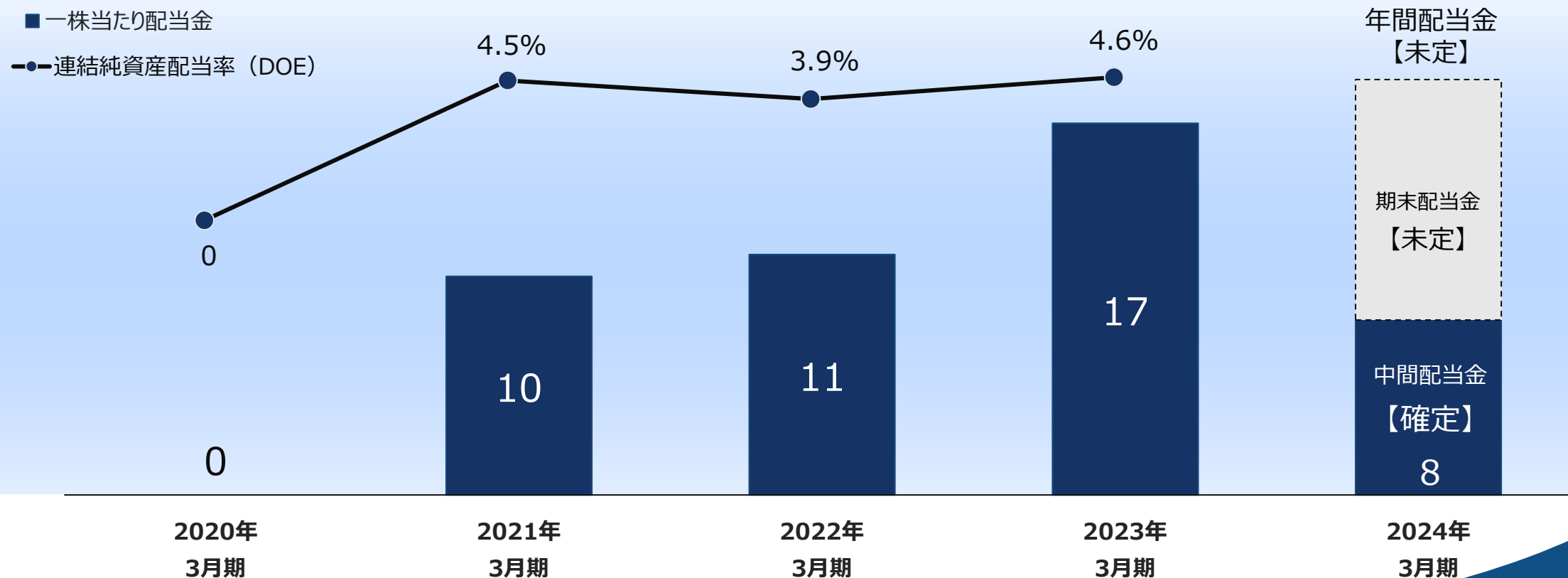
【配当方針】

年間配当金額については**DOE4%**を基準としつつ、経営環境等を踏まえ決定

中間配当金額の設定基準は前期の年間配当金額の約50%を目安

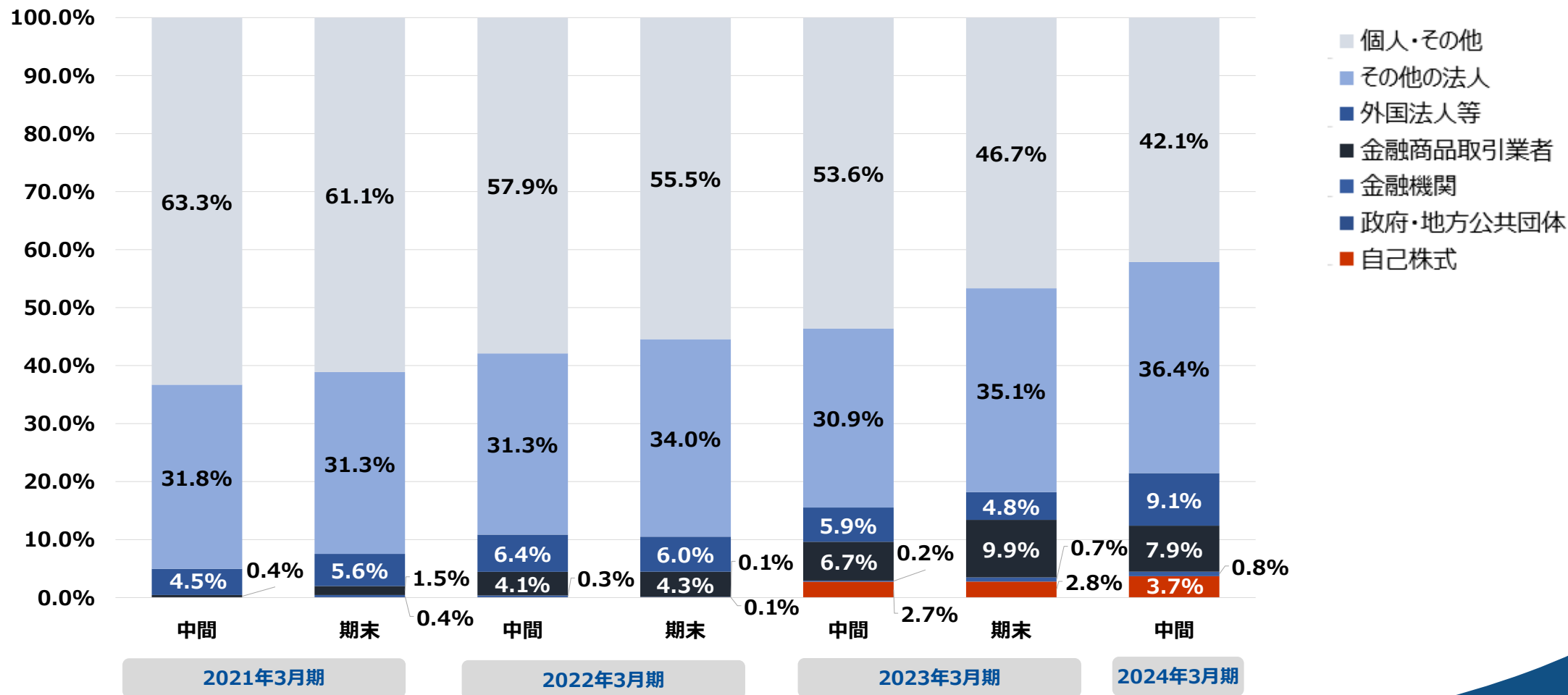
期末配当金は引き続き現時点で未定だが、通期業績の見通しが固まるタイミング（3月中）に公表を予定

(単位：円)



株式情報（保有状況分布表）

- ✓ 3期前と比較し、個人投資家のみならず、投資目線の厳しい外国法人等の取得比率が増加
- ✓ 業績の向上および安定的な配当により中長期目線での保有意向を持った投資家の方々からも投資される銘柄に変化しつつある



プライム市場上場要件への適合状況（2023年12月末時点）

金融を、もっと面白く。



好調な業績を背景に収益基盤、財政状態については十分に要件をクリア
引き続き、適合要件の達成に向け、株価対策を最重要課題の一つとして注力
プライム市場上場企業にふさわしいガバナンス等の組織体制強化を行っていく

	プライム上場要件	当社の状況	適合状況
流通株式時価総額	100億円	72億円 ※1	×
時価総額	250億円	157億円 ※1	×
収益基盤 (直近2年間の利益合計)	25億円	60億円	○
財政状態 (純資産額)	50億円	136億円	○
株主数	800人	7,400人 ※2	○
流通株式数	20,000株	13,640,777株 ※2	○
流通株式比率	35.0%	46.2% ※2	○

※1 2024年3月期第3四半期末の株価 1株534円にて計算

※2 株主名簿情報は2024年3月期2四半期末時点の情報を使用

金融を、もっと面白く。



Appendix

恵比寿ガーデンプレイスへの移転による様々な取組

金融を、もっと面白く。



カフェエリアでは引き続き金融セミナーの開催を行い、新オフィスの設備を有効的に活用
恵比寿ガーデンプレイス主催のイベントにて地域の方々に向けた金融経済教育を実施



カフェエリア（金融を、もっと面白くするエリア）

12月8日に「きんゆう女子。」と第3回目の女性の金融リテラシー向上のための座談会を当社オフィス「金融を、もっと面白くするエリア」にて開催。バリアフリー対応のため、ベビーカーで参加された方もおり、様々な方の参加が可能に

「恵比寿まちの学校～まなぶ・体験2023 年秋」に参加

恵比寿ガーデンプレイスタワー主催の地域の企業や団体が講師役となつて、一般の方向けに普段経験できない体験や学習の場を提供する企画、恵比寿まちの学校に参加 YGP入居企業や近隣のお店・団体等が参加するなか、当社グループからは 트레이ダーズ証券井口取締役を含めた市場部4人の現役為替ディーラーが講師として登壇し地域の方々に向けた金融経済教育を行った

Sustainability Policy

トレイダーズグループの考えるサステナビリティ

これまで、わたしたちは様々なステークホルダー、すなわち株主、投資家、お客様、お取引先、社員、関係諸機関等と適切に協働し、もしくは支援を得ながら、企業として少しずつ成長の道を歩んでまいりました。当社グループは、上場会社として、また、様々な事業を営む企業体として、自己の利益だけを追求することなく、これからも、金融商品取引事業とシステム開発コンサルティング事業のそれぞれの活動そのものの中で、長期的に社会や環境に貢献しうるマテリアリティへの取り組みを進めてまいります。今後、当社グループの成長をけん引するために、ステークホルダーとの協働により、社会的価値と経済的価値を向上させ、または、創造する取り組みを推進することこそが、社会や環境面におけるサステナビリティを巡る諸課題に対する、わたしたちの義務と責任であり、使命であると考えています。

環境的な課題の解決のために

企業活動を通じて負荷をかける地球環境に対する、企業としての取り組み（環境負荷の低減）の実践と継続

ペーパーレス化の推進・森林認証用紙の使用【森林資源の保護】



当社グループでは、会議時のペーパーレス化（タブレット端末・ノートPC・共有モニターを用いた電子会議、インターネット会議の促進）、契約書の電子化によるペーパーレス化、業務作業の自動化ロボット対応化（RPAの導入による業務効率化）や、森林認証制度PEFC認証のコピー用紙、FSC®認証の名刺を使用することにより、森林資源の保護を通じた温室効果ガス削減（CO2削減）に貢献しています。

消費電力（使用量）の削減・抑制【省エネルギーの推進】



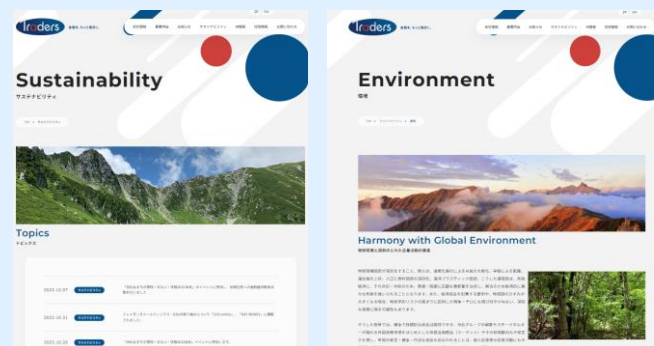
当社グループの主軸事業である金融商品取引事業は、顧客がインターネットを通じて取引を行うサービス形態であり、インターネット関連設備やシステム開発・保守運用のためのパソコン機器等、安定的なサービス提供やシステム稼働のために、電力を多く消費する事業構造となっています。消費電力の削減を通じた省エネルギー化を推進するため、オフィス内においても、積極的に電力消費（エネルギー使用量）の削減、省エネPC機器への順次リプレイスに取り組んでいます。

再生可能エネルギー由来電力の使用



2023年4月より入居している恵比寿ガーデンプレイスでは入居する全てのテナントが再生可能エネルギー由来の電力の提供を受けており、当社も再生可能エネルギー由来電力を使用しております。

サステナビリティページを更新いたしました。



社会的な課題の解決のために

金融リテラシー向上への取り組み①



若年層・学生・女性等幅広い層の金融リテラシーの向上を目指した取り組みとして、2024年1月に神戸市の市立中学校にて 트레이ダーズ証券取締役の外国為替ディーラー井口が金融経済教育の出張授業を行いました。中学生を対象とした金融リテラシー向上の取り組みであり、円高・円安といった外国為替動向の意味、金利と投資行動の関係など、難しい金融の内容について少しでも理解してもらえるようにクイズやグループワークを織り交ぜ、自ら考えること互いに意見を交換することで金融について理解を深めていただきました。引き続き学生や若年層に向けた金融リテラシー向上の取り組みに注力してまいります。



金融リテラシー向上への取り組み②



※ジョブシャドウイングとは学生がさまざまな企業・組織の社員に一日同行し、どのような仕事をしているかを体感すること

「金融教育の推進」の一環として、高校生を対象に本社オフィスで「ジョブシャドウイング」プログラムを実施し、実際の業務の様子を側で体験、観察していただきました。今後も学生の職場体験などを通じ、キャリア教育や金融経済教育の取り組みを推し進めてまいります。

健康企業宣言を行いました。



健康企業宣言とは、健康優良企業「銀の認定」「金の認定」を目指して、企業全体で健康づくりに取り組むことを宣言することです。職場の安全と社員一人ひとりの心身の健康を守り、従業員が社会的にも満足するという状態を作り出すためにウェルビーイング経営に取り組み従業員の活力向上に努めてまいります。

コーポレート・ガバナンスの高度化とより一層の充実に向けた取り組み

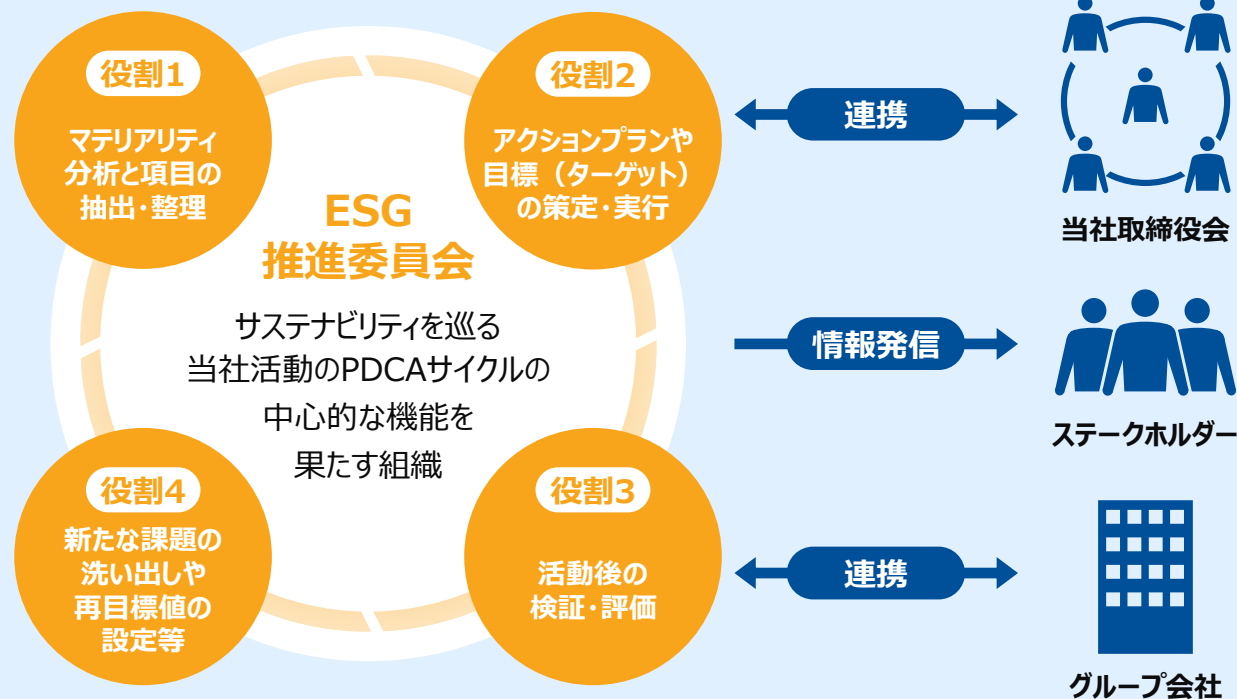
当社は、グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指して、実効性あるコーポレート・ガバナンスのあり方を不断に追求し、構築・強化を進めています。当社コーポレート・ガバナンスの詳細、コーポレート・ガバナンスコードへの取り組み内容についてはWebサイトでご覧いただけます。



当社グループの マテリアリティ推進体制

当社グループでは、ESG推進委員会に各事業会社の代表取締役も含めて、グループ全体でサステナビリティ経営を推進（関連する事業や取り組みを実践）しています。

今後も事業活動を通じた社会的課題の解決や新たな価値創造を目標に、社会情勢や事業環境等を見極めながら、マテリアリティに沿った取り組み（評価を含む）をグループ全社で（部門横断的に）進めてまいります。



コーポレート・ガバナンスの高度化とより一層の充実に向けた取り組み

当社における東証「コーポレート・ガバナンス・コード」全原則のComply状況

① 2021年12月末時点（JASDAQ市場）

② 2022年6月時点（スタンダード市場）

③ 2023年6月末現在※（スタンダード市場）

※直近のCG報告書提出時点



市場区分再編による移行前後で、Comply項目が大幅に増加！

（2022年4月：スタンダード市場に移行完了）

スタンダード市場移行後も、継続して、Comply項目への改善強化！

Complyに向けて当社が改善してきた主な事項！

ポイント1！

取締役会の構成に必要なスキルマトリックスの選定と公表

ポイント2！

取締役会の機能発揮のため、実効性評価の実施と結果の開示

ポイント3！

役員の報酬等の決定方針の透明化と株主目線に即した報酬体系の導入

Complyに向けて当社が改善してきた主な事項！

ポイント1！

自社の株主総会における機関投資家に対する議決権行使を可能とする環境作りを積極的に推進し、海外投資家の比率等も高めることが、中長期的な企業価値向上に資すると考え、2023年6月開催の定時株主総会より、機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームの利用を開始。

ポイント2！

招集通知の英訳版を当社ホームページ、東京証券取引所のウェブサイト及び機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームに開示。2023年3月期第2四半期より決算短信の英語での開示・提供を実施

ポイント3！

当社グループの後継者要件（サクセッションプランとしての必要条件）を整備し、取締役等に対するトレーニングの実施方針に準じた内容の育成プロセスを当社サクセッションプランとして策定

今後も、引き続きComply項目を増やすべく、グループ内部管理体制の強化とコーポレート・ガバナンスの充実化に取り組んでまいります！ 41

金融を、もっと面白く。

traders

MISSION

ミッション

新たな価値を創造し続ける

Create the New Values

VISION

ビジョン

お客様から最も信頼される“FinTech”グループとなり、
だれもが未来に投資できる社会を実現させる

金融を、もっと面白く。

traders

VALUE

バリュー

トレーダーズ
ホールディングス

関わるすべての“人”を大切にしながら、
コンプライアンスとダイバーシティ（多様性）を尊重した経営で、
変革にチャレンジし続ける

トレーダーズ証券

金融リテラシーの向上に貢献しながら、
お客様と社会が求める新たなサービスの提供にチャレンジし続ける

FleGrowth

競争力のあるサービスを提供しながら、スピード感をもって
安定的かつ革新的なシステム開発にチャレンジし続ける

Core Competence

金融を、もっと面白く。



金融事業とITテクノロジーサービスをグループの中核事業として展開
それぞれの事業が連携し、早期に問題抽出・分析・改善が行える体制を構築することにより、
事業シナジーを生み出す



金融を、もっと面白く。

Traders

2023年8月31日よりJPX日経中小型株指数に組み入れられました



JPX-NIKKEI Mid Small

※JPX日経中小型株指数は、「投資者にとって投資魅力の高い会社」を構成銘柄とするJPX日経400と同じコンセプトを中小型株に適用し、持続的な企業価値の向上、株主を意識した経営を行っている企業で構成する株価指数です。JPX総研と日本経済新聞社が共同で算出を行っています。

本資料に関する注意事項

当資料に掲載されている事業戦略や目標数値、見通し等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断した内容であり、実際の業績等の結果は、今後の経済情勢や事業環境、為替市場の動向等、様々な不確定要素その他リスク等に起因して、記述とは大きく異なる可能性があります。

また、マーケットシェアや市場規模等の数値について一部当社の推計値が含まれており、調査手法等によって異なる可能性があります。

本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に関するお問合せ

トレーダーズホールディングス株式会社
ir@tradershd.co.jp (IR担当)



金融を、もっと面白く。